



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシテイビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円 (一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成20年 **3** 月号
No.201

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

参議院、日銀総裁人事案を否決 益々深まる国民の政治不信



武藤氏の日銀総裁案を否決した参議院本会議

やっと審議に入った参議院

国民は今の国会の様子をどのように思っているだろうか。政治への国民の不信は増すばかりである。総予算及び歳入法案の審査に当たっては、徹底した審議を行ったうえで、年度内に一定の結論を得るとした両院議長の斡旋案は非常に重いものである。それが、今や反故同然で無視された形となり、参議院では3月13日にやっと審議に入った状態である。現在、都道府県、全国の市町村議会では、国の予算、予算関連法案の成立を前提に、予算案を審議している。地方自治体には迷惑をかけないと自民、民主両党の良識派は認識しているが、衆議院に小選挙区制度が導入されて以来、多くの法案が政局がらみになり、国家や国民の利益が忘れられている気がしてなら

ない。参議院では、野

党が過半数

を占め、民

主党は第一

党である。

近い将来民

主党が政権

を担うかも

知れない。

民主党は大

局的立場に

立ち、国政

に責任を持

つ利害共有

者として、

国益を中心

に判断をし

てもらい

たい。

恒心

★南極海の公海上で、調査捕鯨船「日新丸」が環境保護団体「シー・シエパード」の抗議船から、薬品の入ったビンを投げられ3人が怪我をした。シー・シエパードは1月にも日本の調査船に2人が侵入して、身柄を拘束された。★今回の薬品の投げ込みで、海上保安庁の保安官が被害に遭っており、海上保安庁は、威力業務妨害と傷害容疑で捜査に着手した。一日も早く犯人を特定

し、日本政府の毅然たる態度を示す必要がある。★世界各国の捕鯨に対する態度は様々である。ノルウェーでは商業捕鯨、アイスランドは調査捕鯨を再開、アラスカ、ロシアの極北地域、グリーンランドでは先住民が生存のために鯨を捕獲している。韓国、中国では座礁した鯨を食べている。★反捕鯨の急先鋒であるオーストラリアはかつて採油捕鯨をしていた。アメリカ、イギリスも鯨油目的で乱獲していた。先進国は捕鯨の時代的役割は終わった、だから他の国も右に倣えでは余りにも身勝手である。★クジラが着実に増えていることは、調査で明らかになっている。特に日本周辺にはクジラが豊富で、イワシ、サンマ、イカなどを大量に食べるので、漁業資源の保護のためにも、適量の捕鯨は必要である。★日本では江戸時代から鯨肉が庶民の食べ物として、普及したと言われている。クジラ料理は日本の伝統的な食文化であり、外国から批判されるものでない。クジラ資源の保護は、当然であるが、オーストラリアはカンガルーを毎年30万頭以上も殺している。こんな国が日本の捕鯨を非難する資格はない。

平成19年度 特別交付税の 配分が決まる

平成19年度の特別交付税の配分が決まった(3月18日決定・閣議報告)。本年度の特別交付税は総額912.4億円、対前年比マイナス4.4%で、道府県分マイナス7.2%、政令指定都市分マイナス10.7%、都市分マイナス5.5%、町村分プラス0.9%となっている。

本年度の特色は全国的に市町村合併のピークが過ぎたために、合併に伴う特別の財政需要は減少した。台風・豪雨災害は比較的少なかったものの、石川県能登半島地震、新潟県中越沖地震によって大きな被害に遭った自治体には災害関係経費が前年より大幅に増えた。また、自ら考案、独自のプロジェクトを展開して、「魅力ある地方」へ生まれ変わろうと、前向きに

平成19年度特別交付税交付金決定額(市分)(単位:千円)

市	18年度実績	(伸率)	19年度決定額	(伸率)
京都市	2,216,109	-11.9	2,008,295	-9.4
福知山市	1,362,190	-6.5	1,242,169	-8.8
舞鶴市	1,062,096	-6.5	960,392	-9.6
綾部市	537,077	-6.6	515,069	-4.1
宇治市	345,161	-5.2	337,049	-2.4
宮津市	570,499	-5.9	568,443	-0.4
亀岡市	750,142	-5.9	726,126	-3.2
城陽市	291,327	-7.6	277,196	-4.9
向日市	227,058	-6.6	216,045	-4.9
長岡京市	234,184	-6.0	230,084	-1.8
八幡市	506,015	-9.2	467,147	-7.7
京田辺市	194,073	-6.8	204,065	5.1
京丹後市	1,347,208	-6.8	1,212,185	-10.0
南丹市	1,210,240	4.0	1,110,213	-8.3
木津川市	508,072		407,219	-19.9
市分計(京都市除)	9,145,342		8,473,402	-7.3
京都府分	2,396,307	-12.6	2,096,325	-12.5

取り組む地方自治体に対しては交付税措置を新設した。さらに原油高騰対策についても本年度の緊急対策として同じく交付税措置を新たに設けた。京都府内においては、本年度は災害等の特別な財政需要はなく、その中で二ノ湯議員は、所管の総務大臣政務官として、別表のとおり特別交付税の確保に努力した。

オヨーンモンゴル外務大臣 京都で交流を深める

外務省賓客として3月2日に来日したオヨーン外務大臣は、5、6日の両日、京都を訪れた。前日、都内のホテルで外務大臣の歓迎夕食会に参加した二ノ湯参議員も、5日、東京駅から大臣と同じ幹線線で京都に向かった。京都市内では西陣織会館を訪れ、その道数十年の熟練職人が帯や金襴を織るきめ細かい伝統の技に見入っていた。最後に色あてやかな着物を着たモデルによる着物ショーも楽しんだ。次の川島織物セルコンでは、社員として働いているモンゴル人などの案内で綴帳やカーペットの製造工程を熱心に見学した。その後、木屋町四

井澤京子議員(京都6区)が質問 衆議院予算委員会分科会

2月27日、平成20年度国家予算を審議する衆議院予算委員会分科会(国土交通省関連予算)が開かれ、京都6区選出の井澤京子衆議院議員が質問に立った。井澤議員は日頃から地元の課題に熱心に取り組んでおり、この日の質問も地元に関する問題が中心で、内容は次の通りである。①源氏物語千年紀を生かした観光客の誘致、②源氏物語千年紀関連事業、③発掘された宇治川右岸の太閤堤の史跡指定、④京都の国宝や重要文化財の防災対策、⑤八幡市の男山団地再生計画。源氏物語千年紀関連事業については、二ノ湯政務官が「記念事業として



井澤議員の質問に答える二ノ湯政務官



川島織物セルコンで

条下がる「鳥弥三」で開かれた駐日モンゴル大使館主催の懇親会に出席、京都府、市、財界人、立命館大学関係者などと懇談した。モンゴルは親日的で、日本との経済関係を強化したい意向を強く持っている。オヨーン氏は国民勇気党の党首で、昨年12月に外務大臣に就任し、将来初の女性大統領になるのではないかと期待されている。

千円の記念貨幣と記念切手を発行することが決定した。貨幣の裏面のデザインは京都府の意向を反映したものを考えており、価格は1枚6千円である。発行時期は貨幣は10月中旬、切手については9月22日を予定している」と答弁した。

中小企業対策関係閣僚会議 年度末の 資金繰りを支援

姉歯建築士による耐震偽装問題によって、建築基準法が厳しく改正され、自治体の建築確認審査の手続きが大幅に遅れるようになった。建築業界は影響をまともに受けて、住宅着工件数が非常に落ち込んだ。最近、ようやく自治体の担当者も改正法の内容を理解し、確認審査も

順調に行われているようである。それでも影響がまだに尾を引いて、建築関連業者の経営は厳しく、青息吐息の状態である。一方、原油の大幅な高騰により運輸業界を中心に中小零細企業の経営が悪化している。これらに加えて、年度末を控え、資金繰りを必要としている中小零細企業への融資が円滑に行われるよう、2月20日、政府は関係閣僚の会合を開いた。二ノ湯政務官は増田総務大臣の代理で出席した。

宮津市消防団特別表彰「まとい」を受章 自治体消防60周年記念式典で

3月7日、自治体消防制度60周年記念式典が、天皇、皇后両陛下をお迎えして、日本武道館で行われた。式典では、今日まで自治体消防の発展に大きな功績のあった個人、団体が表彰された。

京都府では、宮津市消防団が消防団の最高榮譽である「特別表彰まとい」を受章した。宮津市消防団は昭和26年に消防協会会長表彰旗の授与を受け、他の消防団の模範となって活動してきた。しかも、その間、京都府消防操法大会で3回優勝、平成16年には全国消防操法大会にも出場している。その功績が認められて、今回、「特別表彰まとい」の受章につながった。前日、宮津消防団(中西隆光団長)が、喜びの報告のため総務省政務官室に二ノ湯議員を訪ねた。宮津市消防団は現在491人の団員を擁し、京都府下では

最大規模の人数である。3月20日の受賞祝賀会の前に、市中パレードを行う。



金のかかる慶弔電報の禁止を 自民党選挙制度調査会で議論

公職選挙法は、公正公明な選挙を実施するために制定され、各種の選挙運動を規制している。公職に立候補しようとする人は、この法律をよく研究し、選挙の準備を進めないと、選挙違反となり、議席を失うこともある。公選法は昭和25年に制定されたが、今日の実態に合わない条文も多くなっている。自民党選挙制度調査会(村田吉隆会長)では、公職選挙法の抜本的見直しを行い、時代にあった改正を行うために、精力的に各項目にわたって検討を重ねている。先日の会合で群馬県選出の参議院議員中曾根弘文氏から、慶弔電報を全面的に

禁止して欲しいという要望が出された。群馬県では、地元紙の上毛新聞に「おくやみ」欄があり、毎日平均50名近い人の死亡記事が掲載される。この方たちに国会議員が弔電を打つという。自粛を決めたが、いつの間にかこの協定も破られた。衆議院議員なら小選挙区だけで済むが、参議院議員は全て打つことになる。この費用だけで年間約1000万円かかると悲鳴を上げていた。加えて祝電等の各種電報代もある。ただ、弔電を全面的に禁止した場合、お通夜、告別式に出られないが、せめて弔電を打つて弔意を表したいという気持ちまでも封じ込めてしまう事になる。群馬県の選挙文化は非常に特殊であり、全面的な禁止は多くの議員の賛同が得られないようである。

元氣なまち「やわた」づくりを全力

先月に行なわれました市長選挙に際しましては、二ノ湯智参議院議員、二ノ湯真士府議会議員を先頭に、皆様には心温まるご支援、ご尽力を賜りました事に対しまして、心より厚く御礼申し上げます。

さて、本市は昨年、市制三十周年を迎え、次の三十年に向けて力強く歩みだしました。

行財政改革をはじめ、福祉の向上、教育の充実、安全で元氣なまちづくりなどの諸課題に取り組み、市民の皆様とともに優しさを感じ、笑顔があふれる元氣なまち「やわた」をつくっていく決意でございます。

さらに、時代の変化を敏感に捉え、柔軟な発想を持ち、市民に対して説明と透

明性を一層高めながら将来への見通しをしっかりと持った特色ある地域づくりに取り組んで参ります。
今後とも、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

八幡市長 明田 功



第179回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時：4月6日(日) (小雨決行)
 - ・集合時刻：午前8時30分(時間厳守)
 - ・集合場所：川端四条・南座前
京阪四条駅8：37発(急行中書島駅乗換)、淀駅8：59着
 - ・コース：京阪淀駅(9時出発)→淀城跡公園→宇治川沿い→背割堤桜並木→御幸橋→京阪八幡市駅解散
 - ・歩こう会には最適な季節となりました。今回は1.4キロの桜並木が続く背割堤を散策します。3つの川が合流する淀川となる「三川合流」の地、自然の大パノラマをご堪能下さい。多数のご参加をお待ち致しております。
- (当日) ☎090-1956-7460

歩くことは 健康の基本

第178回 みんなで歩こう湯歩会(参加者63名)



右京区新総合庁舎前にて

自民党有志議員 「郵政事業研究会」設立 民営化を検証、二ノ湯議員も参加

郵政事業は、明治4年に創業して以来、全国津々浦々で地域に密着して、国民共有のインフラとして利用されてきた。昨年10月民営化されて4ヶ月が経過し、郵便の遅延や誤配の増加、簡易郵便局の閉鎖など、色々な問題が発生している。民営化の実現にあたって、郵便・郵貯・簡保の三事業の堅持、ネットワークの維持、利便性の向上を国民に約束した。民営化の推進の過程の中で、これらがきちんと実現されているか、検証する必要がある。先ほど、郵政行政に関心の深い自民党の衆参両院の50人が「郵政事業研究会」を設立し、代表世話人に山口俊一衆議院議員を選出した。

門川新市長、 政務官室に表敬訪問

2月17日に投票票の行われた京都市長選挙で、門川大作氏は、市制施行以来26代目、公選になって9人目の市長に当選した。薄氷を踏む思いで当選した門川大作氏は、早々から各方面に挨拶回り。19日には上京、推薦を受けた自民党、公明党の幹部に面会、当選御礼の挨拶をした。その後、国土交通省、総務省を回り、忙しい日程の間合を縫って、二ノ湯総務大臣政務官を訪ねた。二ノ湯政務官は厳しい選挙を戦い抜いた門川氏に祝福と労いの言葉をかけた。門川新市長は市役所の改革に真剣に取り組みと共に将来の京都の町作りのために全力

で頑張りたいと強い決意と意欲を示していた。二ノ湯政務官も門川市長の市政運営に全面的に協力することを約束した。



政務官室にて

身辺雑記

一、北海道滝川市で生活保護費を詐取した容疑で元暴力団夫婦が逮捕された。通院への法外なタクシー代を不正な請求と知りながら支払っていた滝川市役所の対応も問題である。中央の地方自治体への不信が増すばかりだ。

一、京都市長選で共産党の根強さを改めて見せ付けられた。反面、自民、民主の足腰の弱さを実感した。そう遠くない総選挙に備え、自民党もすっかりと選挙の準備をしなければならぬ。

一、徳富蘇峰は、明治、大正、昭和の三代にわたり活躍した言論人、歴史家で、同志社の創立者新島襄の弟子。私は最近この人に興味があり、先日神奈川県二宮町の蘇峰記念館を訪ねた。立派な建物ではないが、常設展示されている資料の中身の濃さに驚

いた。

一、ロサンゼルスで起きた銃撃事件。あれから27年も経ったのか。当時随分と騒がれた。三浦和義氏が疑われたが、無罪となり、結局真犯人は見つからなかった。しかし奥さんが誰かに撃たれたことは確か。ロス市警で真相を解明してもらいたい。

一、長男のところに子供が生まれた。今月初めて京都に連れて帰ってきた。自分に孫が出来たとは思いたくないが、現実である。孫たちが大きくなっても安心して暮らせる地球環境にしなければならない。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360

口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —

二ノ湯さとし事務所
電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました
<http://www.ninoyusatoshi.com>